

その他の事業のその他におけるその他の材料を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	14～15	縦1m、横1.8mの長方形の部材を搬入中、2階の足場の上で部材を受け取った作業員が手を滑らし、下で作業をしていた従業員の左手に部材が当たり受傷した。	22～99	50～99
4	15～16	本社敷地内倉庫にて作業中、コンクリートブロックを左手で保持していたが、放そうと意識する寸前に左手から離れ、右足を引いたが間に合わず右足指先に落下し、右足第一指にあたり負傷した。作業姿勢については、先輩より危険を指摘されていたが、事故当時は意識が薄れていた。	53～99	1～9
4	14～15	マシニング機へのワーク脱着作業を次のような手順で行っていた。①アルミ粗材（3～5kg）を右手にとり左手に持ちかえる。②右手で機械で処理済みのワークを取り出し、左手で左手に持っているアルミ粗材を機械にセットする。③右手に持っている処理済みのワークを向きを変えて左手に持ち変え、次の機械にセットする。合計8台の機械にセット・脱着を繰り返す作業の負荷により、痛みが発生した。	28～99	50～99
6	16～17	会社構内に設置してある廃材コンテナの中を整理している時、同僚が投入したタイル廃材が右手首に当たり怪我をした。	53～99	1～9
7	20～21	キッチンにて、揚げ物用中華鍋が火の消し忘れにより発火しているのを発見した。消火を試みようとして、濡れタオルを中華鍋にかけようとしたところ、中華鍋が不安定で鍋が転倒した。その際、中には入っていた油がこぼれ、左足の指先から足首にかけて・右足の指先・脛・膝に火傷を負った。	25～99	1～9
	10～	ゴルフ場内で草刈り作業中に、プレイヤーの打球が左手甲に当たって激痛がはし		10

7	11	り、打撲箇所が腫れてきたため、当日に整形外科を受診したところ、左手小指と薬指を骨折していると診断された。	69	～
12	18~19	パントリーにておでん鍋を運ぶ際、汁が満杯に入っていたので、蓋のすき間から高温の汁が右手にかかった。	58	～ 49

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html